

基 調 講 演

テーマ：防災情報の活用とその課題について

講 師：鳥取大学工学部 教授 太田 隆夫



略 歴

平成 3 年 3 月 鳥取大学大学院工学研究科海洋土木工学専攻修了
平成 3 年 4 月 鳥取大学助手工学部社会開発システム工学科
平成14年8月～平成15年8月 アメリカ合衆国デラウェア大学客員研究員
平成20年 4 月 鳥取大学助教大学院工学研究科社会基盤工学専攻
平成22年 4 月 鳥取大学准教授大学院工学研究科社会基盤工学専攻
平成30年 1 月 鳥取大学教授大学院工学研究科社会基盤工学専攻
現在に至る

研究活動・著書他

主要な研究分野は海岸工学および防災工学。

これまでの主な研究：

- ・ 海岸保全施設の被災変形による性能変化と効率的な維持管理に関する研究
- ・ ニューラルネットワーク等を用いた波浪予測に関する研究
- ・ AR や VR を用いた防災ツールの開発に関する研究

講演概要等

最近は毎年のように大規模な水害や土砂災害が発生しています。これらに対応するため、災害や防災に関わる情報の多様化や精緻化などが進められていますが、必ずしも人的被害の低減につながっていない実状があります。本講演では、各種の防災情報について整理して紹介するとともに、個人レベルも含めた活用についてお話しします。合わせて、高齢者施設での災害時避難に関わる情報についての調査結果、防災情報の伝達手段として重要度を増している SNS による情報発信の実態と課題についてもお話しします。